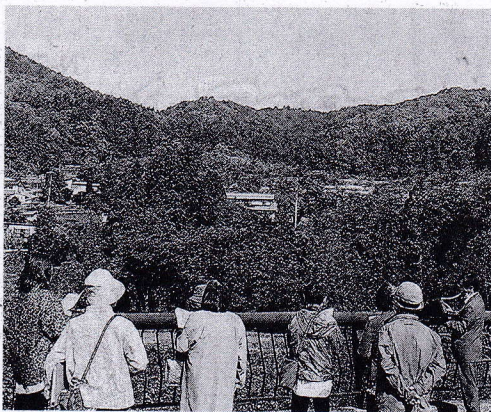


ゆかりの地訪れ 唱歌童謡を歌う 長野で第1弾



唱歌と童謡の継承を目指す日本唱歌童謡教育学会(会長・木内義勝松本短大学長)が旅行会社と共催し、幼いころ慣れ親しんだゆかりの地を訪ね、参加者が歌うという新しい取り組みを始めている。

第一弾は十月末から二泊三日で長野県内を巡り、東海、関東、東北地方から計十人が参加した。「てくてる坊主」を作詞した浅原六朗の記念館(池田町)や、安曇野の雪解けの風景を歌った「早春賦」の歌碑公園

(安曇野市)、「故郷」(春の小川)などの作詞で知られる高野辰之記念館(中野市)などを訪問。感染症対策を取った上で、参加者がゆかりの曲を口ずさんだ。

トヨタEV

30年に350万台

エンジンがかかった

豊田社長

(西尾・六万石)

350万台

復職制度導入へ

カムカムエヴリバディ

全日空

(三重・炭治郎)

他にも、上田電鉄の車両内でハーモニカによる童謡の生演奏を聴いたり、館内に童謡が流れる温泉宿に泊まったり。また、「故郷」の歌詞に「うさぎ追いしかの山」と登場する山々に向いて、参加者たちが屋外で歌った写真。第二弾を来春に長野県内で予定している。(平岩勇司)